

福祉サービス第三者評価 評価結果

対象事業者： 横浜市金沢八景保育園

横浜市金沢区柳町 1-3

運営主体： 社会福祉法人 しののめ会

実施概要	1 ページ
総合評価（評価結果についての講評）	2～3 ページ
評価領域ごとの特記事項	4 ページ
分類・項目別評価結果	5～13 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	14～20 ページ
利用者本人調査分析	21 ページ
事業者意見	22 ページ

2006 年 1 月 10 日公表

実施機関： 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

実施概要

事業所名	横浜市金沢八景保育園	
報告書作成日	2005年11月18日	評価に要した期間 約3ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま	

評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間:05年5月～05年8月29日</p>	<p>約1年前より法人研修で第三者評価について学んできた。研修で共通理解・認識した上で、職員会議で記入方法を説明。常勤・パート職員各個人が記入。各クラス内、調理場内で確認・合意・意見交換し、集約。施設長・主任・各リーダー間で確認・協議・合意して最終集約。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間:05年7月19日～05年8月19日</p>	<p>全利用者の保護者59人に対して、事業者側から家族に手渡し。同封の返送用封筒にて、評価機関宛匿名で返送。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日:第1日 05年9月26日 第2日 05年9月30日</p>	<p>第1日午前中は各クラスの観察調査。昼食は幼児(3歳・4歳・5歳児)クラスで。午後は書類調査の後、園長・主任に事業者面接調査を実施。</p> <p>第2日午前中は保育観察後、5歳児への聞き取り調査と書類調査。昼食は幼児と共に。午後は保育士(各クラスリーダー)、栄養士・看護師、その後園長・主任に事業者面接調査・意見交換を実施。</p> <p>施設見学は、訪問調査の打合せ時に事前実施。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日:第2日 05年9月30日</p>	<p>5歳児12人(当日の登園児全員)を3人ずつに分け、各グループ約15分間、玄関ホールで実施。先生は同席せず。</p> <p>観察調査(5歳児含む)結果は、分類別評価結果に反映。</p>

総合評価（評価結果についての講評）

横浜市金沢八景保育園は、2002年4月に公設民営の保育園として開設されました。定員は60名です。運営主体である社会福祉法人しののめ会は、近接する聖星保育園を長く経営し、この9月にはしののめ保育園も開設しました。園舎は1966年に金沢八景記念会館（結婚式場）として建てられ、その後老人福祉センターとしても使用されていた3階建ての建物の、1・2階部分です。3階はコミュニティハウスとなっています。木々や草が生い茂る公園や海が近くにあり、住宅街にも囲まれていて自然に恵まれた環境の中にあります。

高く評価できる点

1、地域に育まれる子どもたち

園は、保育の基本方針として「四季を充分に感じ、自然を愛しみ、心身を鍛え、物事に感動し美しい心を育てる」を掲げています。その方針は、自然あふれる環境の中で実践されています。子どもたちはほぼ毎日散歩に出かけ、保育士の言葉がけで住宅の庭先や公園の花や木の実などに興味を持ち、自然に親しんでいます。また、地域の人々とも気軽に挨拶を交わしています。さらに高齢者デイサービス施設にはしばしば立ち寄り、歌を聞いてもらったり、お年寄りの合奏を聞いたりして交流しています。

子どもたちは、地域の人々に見守られ、園の基本理念である「地域社会との共生」の中で健やかに育っている様子が伺えます。

2、異年齢児保育の実践

3歳・4歳・5歳児は、時には各年齢に分かれて活動することもあります。普段は「たいよう組」の愛称で、やや広めの部屋でいっしょに過ごします。年長児は、けんかの仲裁をしたり、年少児に絵本を読んであげたり、パズル遊びで困っているとやさしく教えてあげたりしています。年少の子どもたちも、特別に意識することなくお兄さん、お姉さんとして接しています。年長児は、一斉運動や自由遊びの折に年少児が遅れたりしても、待ってあげられる子どもに育っているようです。障がいのある子どもに対しても、ごく自然にあるがままの仲間として受け入れている様子を見ることができます。

異年齢児保育の実践を通して、保育の基本方針「人との関わり、支え合いを大切に、お互いを認め合い、助け合う関係」が養われています。

3、子どもの動線にあわせた室内の有効活用

保育園の建物は、もともと別の用途で建てられているため、使い勝手の悪い箇所が多々ありますが、園は、カラーボックスやラティス（園芸用の格子パネル）をうまく利用し、子どもの動線に合わせた空間を提供しています。例えば、ラティスが、お漏らしの着替えをしている子どものプライバシーを守っていましたが、可動式のカラーボックスで囲った空間では、異年齢児がいっしょに絵本を見たりして、午睡前の静かなひとときを過ごしていました。

独自に取り組んでいる点

1、法人実施の研修会に参加し、自ら学ぶ職員たち

運営主体の法人しののめ会は、聖星保育園、しののめ保育園、知的障がい者通所更生施設の聖星学園、および横浜市金沢八景保育園から成っています。法人は、リスクマネジメントや個人情報に関する講習など、時機を得た研修会を計画的に実施しています。職員はその研修会で学び、意見を発表し合い、法人の他の園の職員たちと切磋琢磨しながら自分自身を磨き、日常の保育に活かしています。

2、身近な野菜の栽培を通した食物サイクルの実践

子どもたちは、ベランダや園庭で、身近な野菜の栽培を行っています。収穫した野菜は、給食でいただきます。調理で出た残滓は、EM菌（有効微生物群）を使って肥料として土に戻しています。子どもたちはいつでもその様子を見ることができ、保育士や栄養士から食べ物の話を聞くことにより、食物の循環と環境リサイクルを自然に身につけています。

改善や工夫が望まれる点

1、保護者に、より理解を求める努力を

当保育園では、乳幼児の送迎時における保護者との会話、連絡帳による情報交換、毎月のクラスだより（異年齢児保育の3～5歳児クラスにおいては『たいようぐみだより』として毎週発行）のほか、年3回の保護者懇談会、年に数回のアンケート調査など、積極的に保護者とのコミュニケーション作りにも努めています。さらに、ほけんだより、食事だよりを毎月発行して、保育園の活動を伝えていきます。保護者とのコミュニケーション作りには多角的・意欲的に取組まれていることが伺えます。

しかし、利用者家族アンケートによれば、保育園の状況が保護者の方々に、必ずしも十分に理解されているようには伺えません。どのようなところに課題があるのかを見直し、保護者との間の理解をより深められることが望まれます。

2、地域の子育て支援については、もう一步踏み出して

保育園では、園庭開放、育児相談、一時保育のほかに、園独自に工夫しているものとして交流保育（公園保育）を行っています。これは、隣接する八景公園で開催され、主として紙芝居を提供するもので、地域の親子が参加しています。また、園内では歯磨き指導教室「乳児親子ブラッシング教室」も開催しています。これら地域への子育て支援サービスの提供は、道路に面した外掲示板で案内していますが、今後は地域の組織体とも連携するなど、より地域に根ざした情報提供が望まれます。

また、交流保育（公園保育）や園庭開放では、母親や保護者の悩みや疑問を汲み取り、地域のニーズに応じた子育て支援サービスに結びつけられることが望まれます。

当評価機関では、「障害」を「障がい」と表記します。

1. 人権への配慮

- ◇ 保育の基本方針「人との関わり、支えあいを大切にし、お互い認め合い、助け合う関係を育て人間関係の基礎を養う」のもと、子どもたちの人権は尊重されており、ゆったりとしたペースでの保育がなされています。保育士から穏やかに温かく接してもらっており、子どもたちは一人ひとり大事にされ、のびのびと園の生活を楽しくしている様子が伺えます。
- ◇ 虐待については職員に周知・理解されており、虐待などの子どもたちの疑わしい変化については、施設長が関係機関に連絡するなどの処置をとる体制をとっています。

2. 利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援

- ◇ 乳幼児の送迎時における保護者との会話、連絡帳、年3回の保護者懇談会、アンケート調査などを通して、保護者の意向や要望を把握することに努めています。また、乳幼児の表情や行動観察から意見や意思を汲み取って保育に反映させています。
- ◇ 3歳・4歳・5歳児が、やや広めの部屋でいっしょに過ごす異年齢児保育では、支え合いを大切にし、お互いを認め合い、助け合う人間関係が養われています。

3. サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 福祉に関わる豊富な経験をお持ちの施設長のリーダーシップのもと、意欲あふれる主任、クラスリーダーはじめ保育士たちのチームワークにより、保育サービスの維持・向上が図られています。
- ◇ 保育のマネジメントに関わる事柄は、マニュアルの形でまとめられており、業務の標準化が進められています。業務の状況は定められた様式にきちんと記録されています。今後は、これらの記録類を分析・評価することにより、次の保育計画に反映されることが望まれます。

4. 地域との交流・連携

- ◇ 園庭開放、育児相談、散歩を通しての近隣の人々との交流、高齢者サービス施設訪問、高齢者グループホームとの交流などのほか、交流保育として隣接する公園で開催している紙芝居など、積極的に地域との交流・連携に努めています。園の基本方針である「地域との共生」が実践されています。
- ◇ 現在、これらの地域との交流・連携事業は道路に面した外掲示板により案内していますが、地域の組織体とも連携するなど検討され、より地域に根ざした情報提供が望まれます。

5. 運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 保育理念や保育の基本方針が明確に定められ、職員に周知・理解され、実践されています。施設長の自由に話し合える保育園作りが、運営上の透明性に結びついています。保護者へは、保護者懇談会や園だよりを通して伝えられています。
- ◇ 今後の事業運営に備え、次代の環境変化やニーズを踏まえた中・長期計画の策定が望まれます。

6. 職員の資質向上の促進

- ◇ 積極的に職員の資質向上に向けた研修を行なっています。外部の各種研修会や大会への参加、参加報告書による園内研修などにより技術の向上、モチベーションの維持に努めています。
- ◇ 独自に取り組んでいる点として、法人組織「しのめ会」による時機を得た研修会も開催しています。この研修会において、職員は意見を発表し合い、他の施設の職員たちと切磋琢磨しながら自分自身を磨き、日常の保育に活かしています。

分類別評価結果




横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/fukushi/hyouka/index.html#qg> を参照してください。






ひょう太の数の意味は以下の通りです。



3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある




評価領域 利用者（子ども）本人の尊重



評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の理念や基本方針、保育目標が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し実践しています。 ・ 保育計画は保育の基本方針に基づき、保護者の実状などを考慮して作成しています。 ・ 保育計画に基づき、年齢ごとの指導計画を作成しています。子どもの態度や表情などから子どもの意思を汲み取り、指導計画に反映しています。そして、子どもの自主性や主体性を育て、発揮できる指導計画となっています。
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入園前に子どもの発達状況や課題を、面接及び保護者からの提出資料などにより把握しています。 ・ 新入園児の受け入れに際しては、短縮保育(ならし保育)について保護者と相談し、0歳児・1歳児には個別の主担当保育者を決めるなど種々の配慮を行い、保護者へ伝えていきます。 ・ 園生活に入ってから、子どもの発達や状況に応じて、年間・期別・月別・週別の指導計画を作成しています。
<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員が園内・外を清掃するなど、子どもが快適に過ごせるような施設環境の確保に努めています。 ・ 沐浴設備、シャワーなど身体を清潔にできる設備が備えられています。 ・ 小集団保育に適した空間の確保、食事の時にはテーブルにきれいな布を掛け、花を生けるなどの工夫を行って、子どもたちにとって快適な環境の確保に努めています。

<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子ども一人ひとりの状況に応じた保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しています。計画は定期的に見直しています。 ・ 子ども一人ひとりの発達の段階に応じて対応しており、その記録も整備しています。 ・ 個別指導計画の作成・見直しに際しては、重要な部分について保護者へ説明されることが望めます。
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に配慮を要する子どもを受け入れており、そのために必要な情報は職員間で共有しています。 ・ 障がい児保育のための環境は整備されており、保育内容への配慮があります。 ・ アレルギー疾患のある子どもへは、代替食・除去食の提供など、適切な配慮を行っています。 ・ 外国籍の子どもや帰国子女は、現在在園していませんが、過去の経験を踏まえ適切な配慮が行われる体制になっています。
<p>- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっています。また、意見箱の設置、年3回の保護者懇談会の開催、年数回のアンケート調査などを通して、保護者の意見・要望や苦情を受け入れる体制をとっています。 ・ 要望や苦情等を受け入れ、それらに迅速に対応できる仕組みとなっており、寄せられた意見などは職員会議において施設長主導で対応しています。 ・ なお、保護者からの意見・要望が述べやすい方法について、さらに工夫されることが望めます。



評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ おもちゃや絵本は子どもが自由に取り出すことができ、新聞紙や広告紙なども準備され、遊びが豊かになる工夫が見られます。 ・ 自由遊びでは、自分の好きな遊びに熱中する姿が見られます。数人でいっしょにパズルをしたり、絵本を読んだりする姿があちこちに見られます。子どもたちは、全体的に落ち着いて遊んでおり、その遊びは異年齢児同士でも見ることができます。 ・ 異年齢児集団でのけんかでは、年長児が年少の子のけんかをうまく仲裁しています。また、年長児は、年少児に頼られることで良い方へ変わるという異年齢児保育の良い点が見られます。 ・ 子どもたちは、野菜を育てることを通して食物サイクルを体験し、食の大切さを学んでいます。ベランダや園庭では、トマト、ナス、キュウリ、サツマイモ等を栽培、収穫して食物としてみんなで食したり、調理で発生した残滓をEM菌(有効微生物群)を利用して肥料として土に戻したりして、食物サイクルを体験しています。 ・ ほぼ毎日、乳児から幼児クラスまで、乳児はお出かけカートや乳母車で、散歩に出かけています。保育士は常に子どもたちへ話しかけています。そして、子どもたちは散歩の途中でデイサービス施設に立ち寄り交流したり、道で出会った人々とも自然に挨拶を交わしたり、地域に馴染み、地域の中で育まれている様子が伺えます。
<p>- 1 保育内容[生活]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 乳児は、一人ひとり抱っこをされてゆったりとした中で授乳されています。離乳食の写真が、各期ごとに壁に貼ってあります。 ・ 幼児クラスでは、保育士から自分の食べられる量を器に盛ってもらい、嫌いなものでも自分なりに工夫をして食べていて、残す子どもは殆んどありません。子どもたちは、異年齢や同じ年齢同士など自由に自分の好きなテーブルで食事をしています。 ・ 献立は、食材に旬のものを取り入れ、色彩にも留意しています。食事の時はテーブルにきれいな布が掛けられ、散歩で摘んだ草花が小さなガラス瓶に生けられ、楽しい雰囲気の中で食事ができるように配慮しています。 ・ 栄養士は、昼食時には各クラスをまわって喫食状況を確認したり、懇談会等では保護者に意見を聞いたり、試食を提供して、子どもの食に関する情報収集に努めています。 ・ 排泄は、家庭とよく連携を取り、無理強いすることなく誘導しています。お漏らしした場合は、他の子の見えないところで替えたりしています。




<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康管理に関するマニュアルがあり、看護師の適切な判断や、助言が毎日の園生活に活かされています。 ・ 子どもの歯磨きは、昼食後、保育士から促されることも無く、それぞれが自然な流れの中で行っています。保育士は、歯磨き後、よく磨けたね、もう少しがんばろうね、などの声かけをしながら点検しています。 ・ 感染症については、すぐに掲示をし、保護者へは、ホワイトボードや園だより等で連絡しています。また、看護師が毎月発行しているほけんだよりで、病気の説明や子どもの癖などについても丁寧に知らせています。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 衛生管理のマニュアルがあり、職員に周知されています。また、必要に応じてその都度見直しています。今後は、定期的な見直しを行うようにすると、より衛生管理の徹底が図られることと思われます。 ・ 保育士は、それぞれ安全管理委員、美化係、備品係、衛生係等を担当して、衛生管理や安全管理に努めています。
<p>- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全管理に関するマニュアルがあり、園独自の安全管理委員会を設置して、けがの防止に努めています。 ・ 事故や災害に対する訓練を毎月実施しています。避難訓練は、毎月内容を変えて実施しています。保育園の3階に開設されている柳町コミュニティハウスと合同の避難訓練も実施しています。また、園は、災害に備えて3日間の備蓄を行っています。 ・ 保育士は、外部研修に加えて、看護師からも救急救命の研修を受けています。 ・ けがや事故については、保育士が、できるだけ口頭で保護者に伝えるようにしています。また、看護師の説明が必要な場合には、看護師が直接保護者へ連絡・説明しています。 ・ 不審者侵入の避難訓練を行ったり、警察や行政との連携もあります。しかし建物や外囲いに外部からの侵入に対して不十分な点が見られます。なお一層の改善が図られるよう望みます。

<p>- 3 人権の尊重</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育士は、子どもの名前の呼び方や子どもへの話しかけには、穏やかでやさしく、丁寧に接しています。 ・ プライバシーが守られる場所については、建物の構造上やむを得ない点がありますが、保育士の工夫により確保されています。 ・ 職員は、虐待についての研修を受けて理解しています。 ・ 職員は、法人しのめ会の研修会で、個人情報の研修を受け、その取り扱いや守秘義務等について理解しています。 ・ 個人情報に関する書類は、事務室内の奥の倉庫に保管しています。なお、人が簡単に侵入できないように、ドアにカギを取り付ける等の工夫をした方が、個人情報の保護上、より安全だと思われます。
<p>- 4 保護者との交流・連携</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育の基本方針の保護者への説明は、4月の懇談会で行っています。また、定期的に発行している園だよりで、保護者へ知らせています。 ・ 子どもの様子は、連絡帳への記入や、送迎時の保護者との会話を通して細やかに伝えるよう努めています。個人面談は、希望があればいつでも受け付けています。 ・ 保護者懇談会では、子どもの日常をビデオで紹介して保護者に喜ばれています。また、行事の写真を園内に掲示して子どもの様子を知らせています。 ・ 保護者は、子どもの誕生日に保育参加することができます。給食もいっしょに食べ、日頃の子どもの様子を知ることができます。誕生日に参加できなかった保護者へは、別の日でも保育参加ができるように応じています。 ・ 保護者会はありませんが、必要に応じて保護者の集まりに部屋を提供したり、クラスだよりでその開催を知らせたりして便宜を図っています。 ・ 今後、保護者からの相談内容について、継続的にフォローしていくしくみづくりが望まれます。




評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園庭開放、育児相談、交流保育(公園保育)等を実施しています。これらについての情報は、外掲示板で知らせており、それを見て来園する親子が何組もいます。 ・ 交流保育は、隣接する八景公園で開催され、主として紙芝居を提供し、地域の親子が参加しています。 ・ 昨年より、歯磨き指導教室として「乳児親子ブラッシング教室」を企画し開催しています。 ・ 外掲示板では、園庭開放、育児相談、交流保育の予定のお知らせなどのほか、ほけんだより、食事だよりの掲出など、様々な子育ての情報を提供しています。 ・ 今後は、交流保育や園庭開放などの折に、来園者の悩みや相談事を、より積極的に汲み取ることが望まれます。
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の専門性を活かした相談機能は維持しており、施設長がその相談に応じています。 ・ 区役所や児童相談所との連携が取れています。連携は主として施設長が行っています。 ・ 関係機関・団体等との関わり方については、マニュアル等により明文化されることが望まれます。




評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園庭開放、法人しののめ会の行事「しののめ祭」に地域の人々をお誘いするなどを通して、保育園に対する理解促進のための取組みを行っています。 ・ 日課となっている散歩や公園での遊びを通して、地域の人々と交流しています。また、高齢者サービス施設への訪問や、年数回の高齢者グループホームとの交流などを行っています。さらには、金沢区幼保小教育事業へ参画するなど、地域コミュニティへの働きかけに努めています。
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来の利用者が関心のある事項について、分かりやすく情報の提供を行っており、利用希望者の問い合わせや見学にも、常に対応できる体制になっています。 ・ 今後は独自のホームページの開設等により、更なる情報提供が望まれます。
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティアや実習生の受け入れのマニュアルが整備され、受け入れにあたり事前に職員や保護者へ説明し、また担当責任者を決めています。 ・ 実習生に対してはプログラムを工夫し、効果的な実習を行っています。 ・ ボランティアや実習生との話し合いを持ち、感想や意見を園運営に反映しています。

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の理念や方針に適合した人材の育成のため、園内研修の実施、外部で開催される各種の研修会への積極的な参加、更に法人しののめ会主催による研修会の実施など、積極的に人材育成に取り組んでいます。 ・ 非常勤職員に対しても同様な研修を行っており、実践面では主任・クラスリーダーによる指導を行っています。 ・ 今後は、個々の職員の資質向上に向けた目標を定めて、達成度の評価を行うとともに、園全体として研修の成果を評価して、次の研修計画に反映させることが望まれます。
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の技術の向上については、職員会議における保育サービスに係わる自由な意見交換、グループ毎に行っているロールプレイ方式等による相互研修などを通して取り組んでいます。 ・ 外部講師による講習会などを適宜実施しています。
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育現場の職員に、可能な限り権限を委譲し、責任を明確にしています。 ・ 職員会議においては、職員からの業務提案や意見発表が行われるように運営するなど、モチベーションの維持向上に努めています。 ・ 今後は、経験・能力や習熟度に応じた役割を期待水準として明文化し、より一層のモチベーションの維持向上に努められることが望まれます。

評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者として守るべき法・規範・倫理等は、就業規則dの中に明文化して職員に周知し、実践されています。 ・ EM 菌(有効微生物群)を利用した食物サイクル活動などの実践を通して、ゴミ減量化・リサイクルなどの環境に配慮した取組みを行っています。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本理念や保育の基本方針・保育目標は、職員に理解され実践されています。 ・ 重要な意思決定にあたっては、関係職員・保護者等から情報・意見を求めており、また説明を行っています。 ・ 主任クラスの職員がスーパーバイザーとして、職場の課題を把握するとともに、職員の育成・指導に努めています。 ・ 今後は、プログラムの作成などによる、主任クラスの計画的育成が望まれます。
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部環境の変化等に対応して、リーダー会議などにおいて、理念や基本方針を実現するための取組みを行っています。 ・ 次代の組織運営や施設運営に備え、運営やサービスの検討、幹部職員の育成に取り組んでいます。 ・ 運営に関しては、外部の専門家の意見を取り入れるよう努めています。 ・ 今後、事業運営に影響のある情報の収集や分析をもとに、中長期的な事業計画の策定などに取組まれることが望まれます。

利用者家族アンケート 分析

実施期間 2005年7月19日～8月19日

実施方法 事業者から直接利用者家族に配付

回収率 52.5% (配付59枚、回収31枚)

所属クラス 0歳児...5人、1歳児...7人、2歳児...6人、3歳児...4人、4歳児...3人、5歳児...6人

ただし複数名が在籍の場合には下の児童のクラス。

結果の特徴

- ◇ 保護者は、総合的にみてほぼ満足と答えています。(満足58.3%、どちらかと言えば満足32.3%)
- ◇ 保育目標・保育方針は、81%が、ほぼ知っていると答えています。
- ◇ 日常の保育内容については、他の質問項目に比較して満足度がたいへん高くなっています。特に「自然に触れる」という項目は100%、「遊びを通した健康づくりへの取り組み」については、97%の満足度です。「園での遊び」については94%、「友だちや保育士とのかかわり」については93%の満足度になっています。「おもちゃや教材」については、もう少し種類が欲しいと言う保護者の声もありましたが、90%の方が満足と答えています。
- ◇ 保育園の快適さや安全対策についての項目では、落ち着いて過ごせる雰囲気がある(90%)という反面、園舎や園庭への不満(23%)、不審者侵入に対する不満(45%)などがあります。この園舎や園庭は、他施設を転用したものであるため、園としては独自に種々工夫を凝らしています。例えば、空気の流れの悪いところには空気清浄機が設置されています。
- ◇ 情報提供については、幼児(3歳・4歳・5歳児)クラスでは園だよりが毎週発行されていますし、ほげんだより、食事だより、が毎月発行されています。感染症についての情報等も掲示されており90%の満足度になっています。
- ◇ 保護者は、子どもたちが大切にされていると感じており(93%の満足度)、子どもたちは保育園生活を楽しんでいる(93%)と感じています。

満足度の高かった点

- ◇ 保育内容の中で「自然に触れる」という項目は、100%の満足度です。また、「遊びを通した健康づくり」という項目は、97%の満足度です。
- ◇ 日常の保育内容は、おしなべて満足度が高くなっています。
- ◇ 入園時に子どもの様子や生育歴についてよく聞いてくれる(100%の満足度)と、安心している様子が伺えます。
- ◇ 年間の保育や行事についての説明は、93%が満足しています。

満足度のやや低かった点

- ◇ 送迎時の対応については、子どもの園での話しを聞きたいという気持ちの表れか、満足度は77%です。
- ◇ もう少し不満や要望が気軽に言える状況が欲しい(26%)と感じている保護者がいます。
- ◇ 年間の保育や行事に保護者の要望が活かされているかという項目については、23%の保護者が不満と述べています。行事後のアンケートの結果が反映されていないと言う声はいくつか出ています。
- ◇ けがをした場合等には、保育士や看護師はできるだけ保護者へ直接説明しようと努力していますが、保護者は、けがの説明や対応について不満を感じて(26%)います。保護者へ安心感を与えるための工夫が今ひとつ必要のようです。
- ◇ 園庭への出入り口や、園舎への出入り口の不審者対策には、45%が不安を感じています。

利用者家族アンケート集計結果

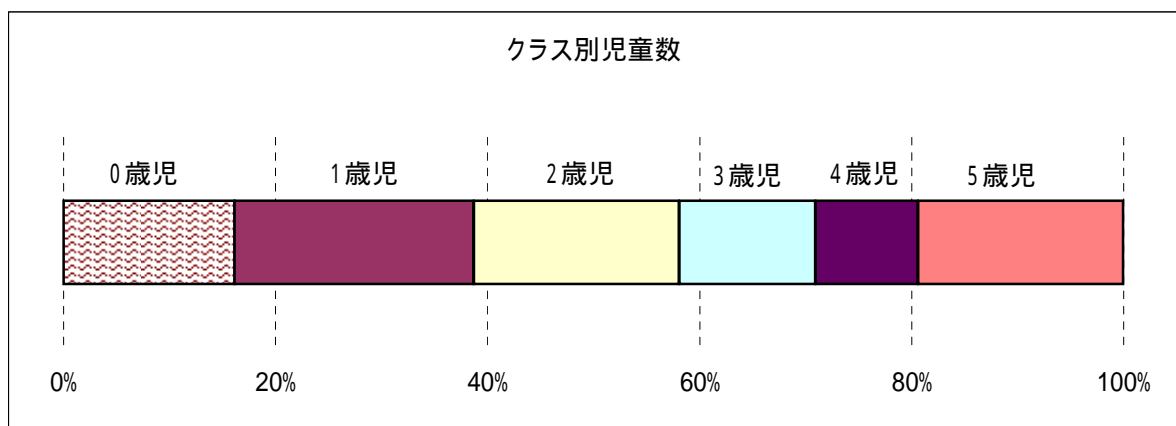
実施期間： 2005年 7月19日～8月19日

回収率： 52.5%（回収31枚 / 配付59枚）

【属性】

クラス別児童数 複数在籍の場合は、下の子どもで記入

合計	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	無回答
31	5	7	6	4	3	6	0



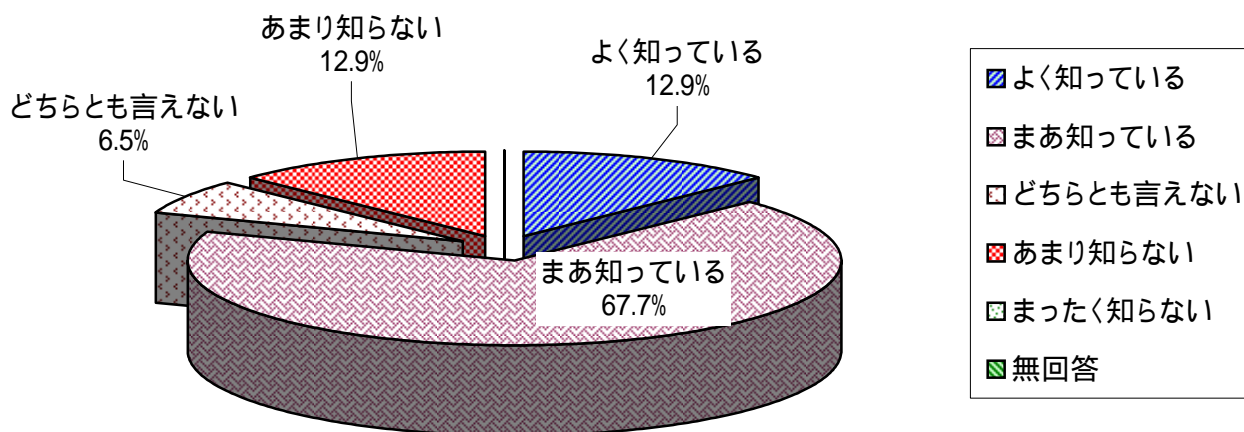
保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	12.9	67.7	6.5	12.9	0.0	0.0	100

保育園の保育目標・保育方針を知っていますか



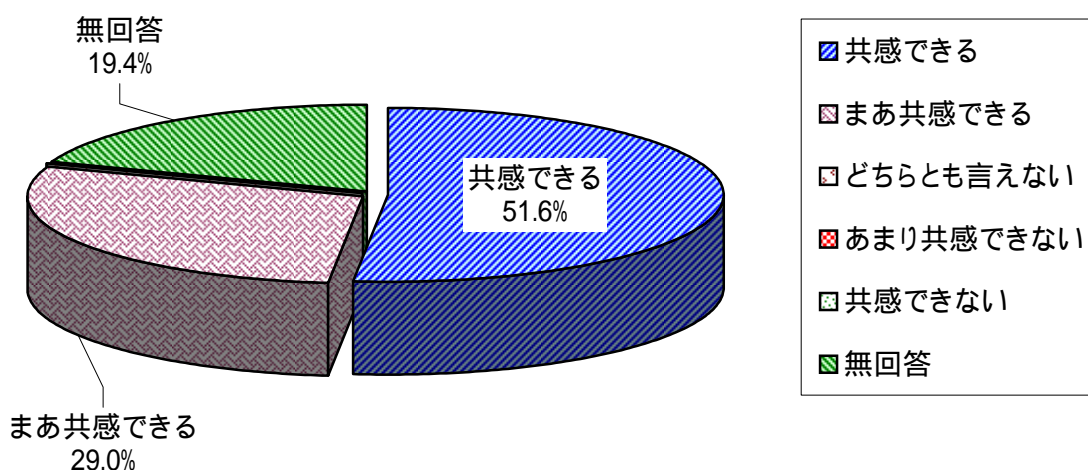
「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	共感できる	まあ共感できる	どちらとも言えない	あまり共感できない	共感できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	51.6	29.0	0.0	0.0	0.0	19.4	100

保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか



保育園のサービス内容について
問2 入園時の状況について

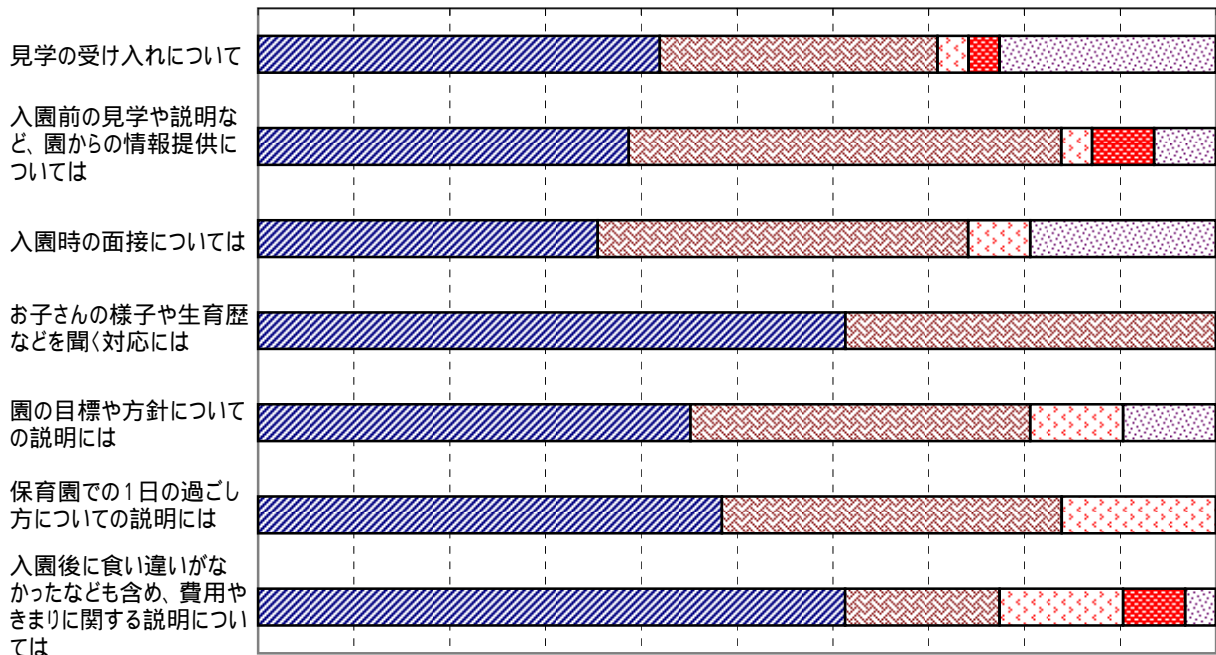
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	41.9	29.0	3.2	3.2	22.6	0.0	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	38.7	45.2	3.2	6.5	6.5	0.0	100
入園時の面接については	35.5	38.7	6.5	0.0	19.4	0.0	100
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	61.3	38.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100
園の目標や方針についての説明には	45.2	35.5	9.7	0.0	9.7	0.0	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	48.4	35.5	16.1	0.0	0.0	0.0	100
入園後に食い違いがなかったなども含め、費用やきまりに関する説明については	61.3	16.1	12.9	6.5	3.2	0.0	100

入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



問3 年間の計画について

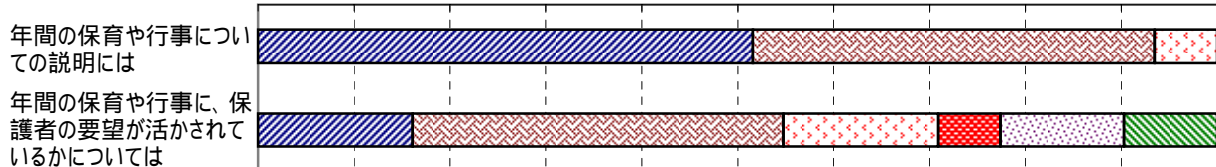
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	51.6	41.9	6.5	0.0	0.0	0.0	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	16.1	38.7	16.1	6.5	12.9	9.7	100

年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

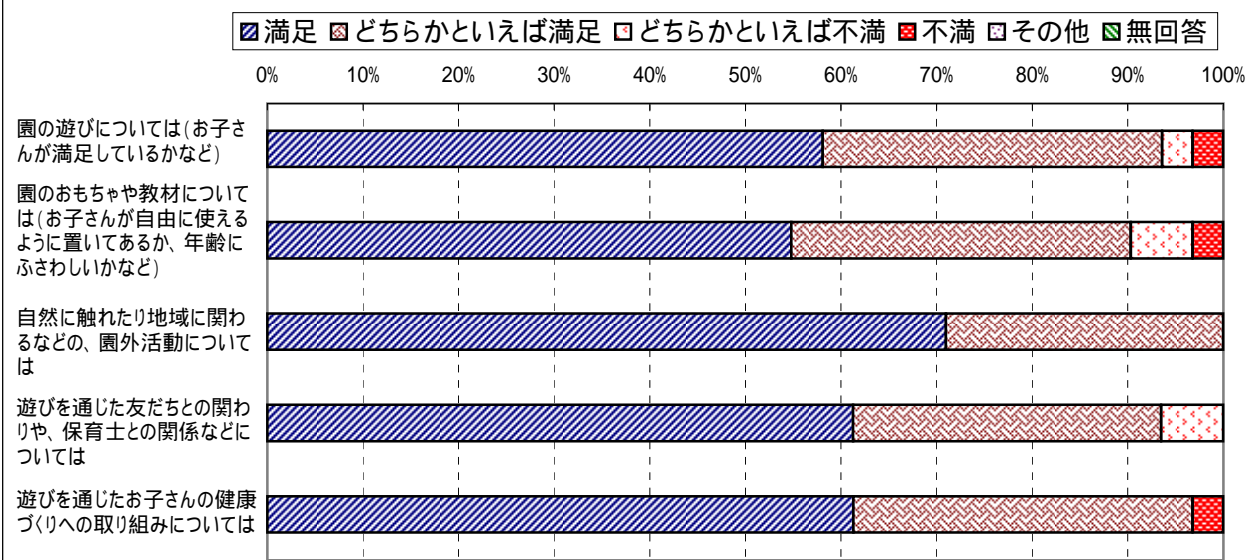


問4 日常の保育内容について

(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園の遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	58.1	35.5	3.2	3.2	0.0	0.0	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	54.8	35.5	6.5	3.2	0.0	0.0	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	71.0	29.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100
遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては	61.3	32.3	6.5	0.0	0.0	0.0	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	61.3	35.5	0.0	3.2	0.0	0.0	100

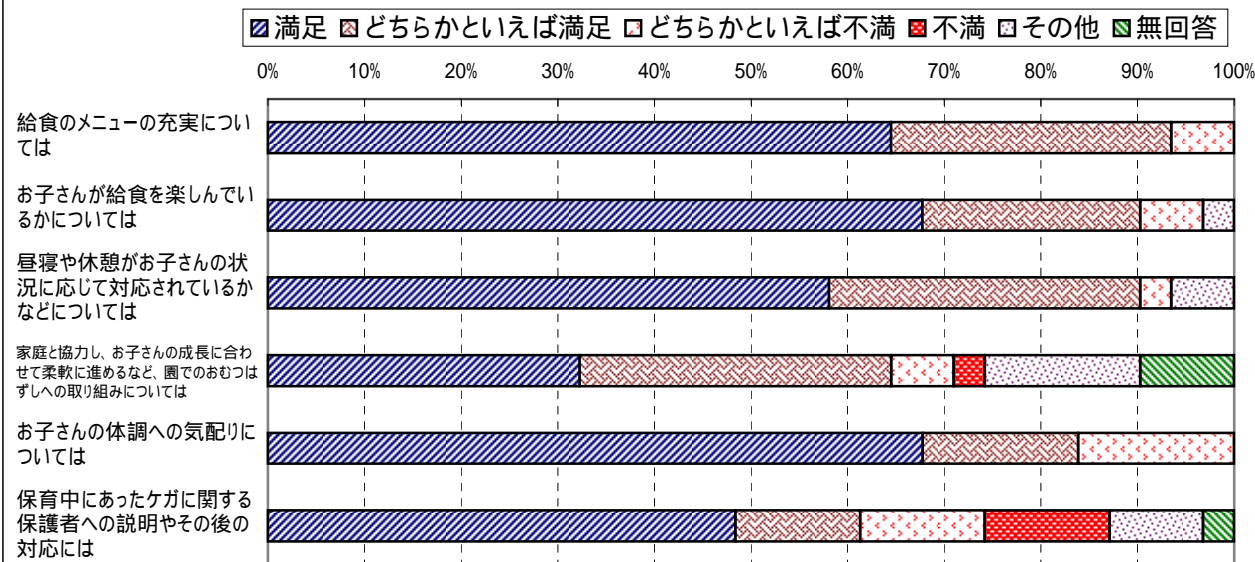
日常の保育内容「遊び」について



(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食のメニューの充実については	64.5	29.0	6.5	0.0	0.0	0.0	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	67.7	22.6	6.5	0.0	3.2	0.0	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	58.1	32.3	3.2	0.0	6.5	0.0	100
家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては	32.3	32.3	6.5	3.2	16.1	9.7	100
お子さんの体調への気配りについては	67.7	16.1	16.1	0.0	0.0	0.0	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	48.4	12.9	12.9	12.9	9.7	3.2	100

日常の保育内容「生活」について



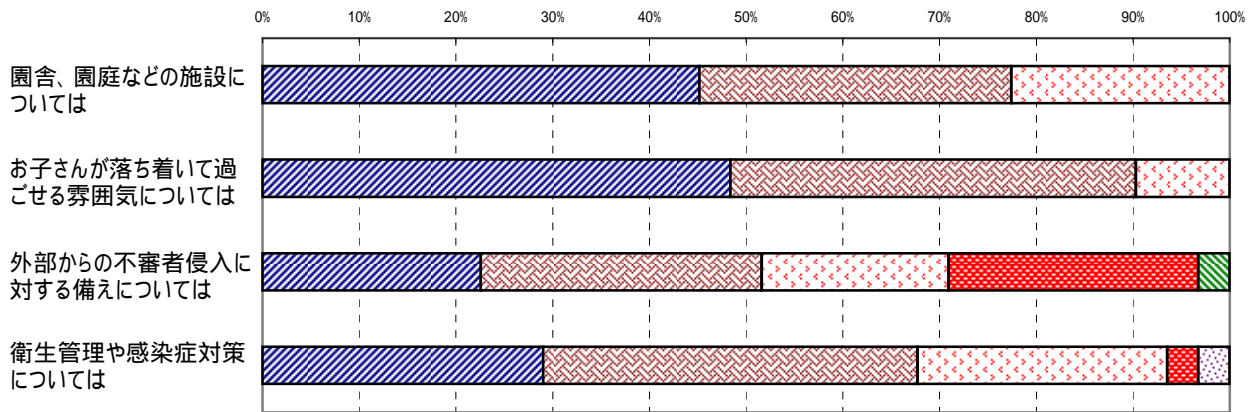
問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
園舎、園庭などの施設については	45.2	32.3	22.6	0.0	0.0	0.0	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	48.4	41.9	9.7	0.0	0.0	0.0	100
外部からの不審者侵入に対する備えについては	22.6	29.0	19.4	25.8	0.0	3.2	100
衛生管理や感染症対策については	29.0	38.7	25.8	3.2	3.2	0.0	100

快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



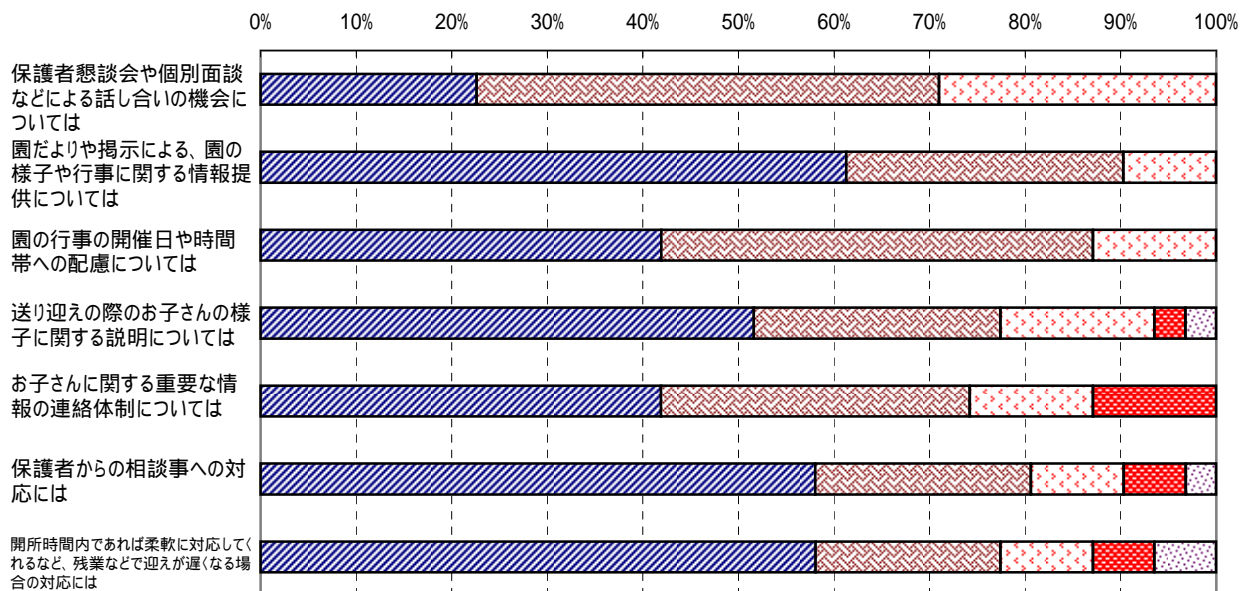
問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	22.6	48.4	29.0	0.0	0.0	0.0	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	61.3	29.0	9.7	0.0	0.0	0.0	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	41.9	45.2	12.9	0.0	0.0	0.0	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については	51.6	25.8	16.1	3.2	3.2	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	41.9	32.3	12.9	12.9	0.0	0.0	100
保護者からの相談事への対応には	58.1	22.6	9.7	6.5	3.2	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	58.1	19.4	9.7	6.5	6.5	0.0	100

園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



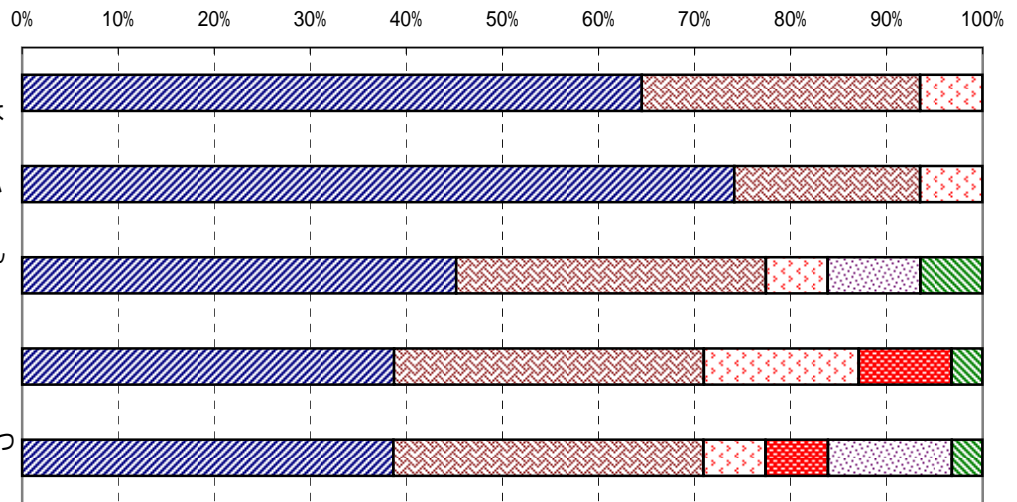
問7 職員の対応について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	64.5	29.0	6.5	0.0	0.0	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	74.2	19.4	6.5	0.0	0.0	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	45.2	32.3	6.5	0.0	9.7	6.5	100
不満や要望を気軽に言えるかどうかについては	38.7	32.3	16.1	9.7	0.0	3.2	100
不満や要望への対応については	38.7	32.3	6.5	6.5	12.9	3.2	100

職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

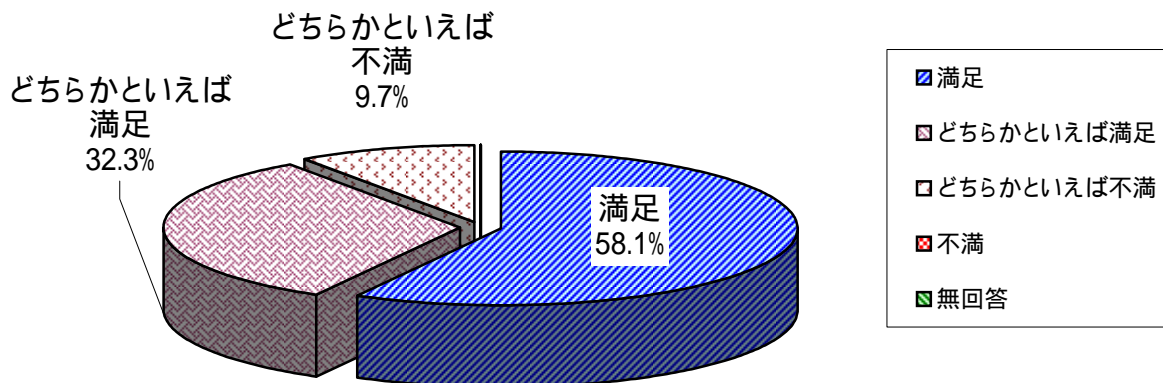


問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	58.1	32.3	9.7	0.0	0.0	100

総合満足度



利用者本人調査 分析

実施日時 2005年9月30日(金)13時~14時30分

選定方法 5歳児12名(障がい児も含む、当日登園の5歳児全員)

実施方法 3名ずつ4グループに分け、玄関ホールで実施。(この時間帯は、人の出入りがほとんど無いことを確認して実施)

1、遊びについて

- ◇ 保育園での遊びは楽しいと全員が答えました。好きな遊びは、絵本、はめ絵ゲーム、ブロック、鬼ごっこ、追いかっこ、おままごと、積み木、滑り台、ブランコ、粘土、折り紙等です。
- ◇ 楽しいときは、友達と遊ぶとき、ドミノを倒すとき、お家ごっこをしているとき等です。

2、食事について

- ◇ 全員が美味しいと答えました。
- ◇ おかわりは自由にでき、食べられないときは残せるが、ほとんどの子どもが残さないと答えました。嫌いな食べ物の場合は、好きなものに巻いて食べたり、がまんして食べてしまうと答えました。理由としては、保育士に給食をよそってもらうときに、自分の食べられる量を申告しているからで、自分でも努力している様子が伺えました。

3、トイレについて

- ◇ 行きたいときには、先生に言ってから行くことができる。ウンチをふけないときは、先生がふいてくれる。仕上げをしてもらうこともあるが、ほとんどの子どもが、自分でできると答えました。お話を聞くときや、食事の時はダメと言われることがある。食事の前に行っておくように、とされているようです。
- ◇ おもらしをしたときは、先生も手伝ってくれるが、自分で着替えなさいと言われて、自分で着替えることもあると答えました。

4、清潔・健康について

- ◇ 汗をかいたり、身体が汚れたときは、自分で汗を拭いたり、汚れを洗うと答えました。
- ◇ 熱が出たときは、先生が冷却剤を額に貼ってくれたり、具合が悪いときも先生がやさしく世話をしてくれると答えました。また、けがをしたときには、消毒をしてテープを巻いてくれると答えました。

5、いやな思いへの対応や権利を守ることにについて

- ◇ 友だちとけんかしたときや嫌なことをされたとき、先生は話を聞いてくれると答えました。また、当人同士で話し合っ解決することもあると答えていました。
- ◇ 昼寝をしたくないときは、静かに目をつぶって寝ていますが、しばらくすると先生が声を掛けてくれて、別の場所で静かに本を読んだり、粘土やお絵かきをして遊んでもよいことになっていると答えていました。
- ◇ 名前は、ちゃん、君と呼ばれています。時には呼び捨てにされることもあるようですが、それは愛称として呼ばれているようです。

6、職員について

- ◇ 先生はやさしいと答えました。
- ◇ 困ったときは、いつでもやさしく対応してくれると答えました。
- ◇ 園長先生のことは、「まき先生」と呼んでいます。園長先生と話したり、遊んだりしたことが何度かあると答えました。

調査をして感じたこと

子どもたちは、ほとんどの子が質問に対してはっきりと答えることができました。障がいのある子どもがまじっているグループでは、その子のことを気遣いながら質問に答えている様子が、自然で温かい雰囲気でした。異年齢児保育のよいところが子どもたちの様子に表れていると感じました。

事業者意見

横浜市金沢八景保育園

指定管理者制度が導入された事に依り、公設民営の当施設は、第三者評価を受審いたす事になり、また同時期に、当法人としても、市の整備計画に基づき、当施設より車で5～6分の場所に9月1日付で新園を開園し、当施設の職員の3分の1が入れ替わり間もない期間の心もとない受審でもありました。

評価の考え方、とらえ方は様々ではありますが、率直に評価調査員の方にも恵まれ、今まで見え隠れしていた部分も明文化され、そして受審するにあたり、園の事を職員間で見直しや確認いたす事に依り、職員1人1人が共通認識し、更なる共生をめざしている事を実感いたすよい機会だったと振り返ります。

今後は、いただいた良い評価に満足せず、より良い方向へと努力し続け、改善すべき点はこれからの課題として取り組み、保護者の方々の思いを受け止め、連携をとりながら、どの子ども幸せを感じられる保育をすすめていく所存でございます。